

令和7年度 九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会 および

福井県管理河川（嶺北・嶺南ブロック）減災対策協議会

日時：令和8年2月12日（木）10：00～11：00

場所：WEB会議（福井県庁10階 総合防災センター）

【議事概要】

- (1) 規約改正
- (2) 九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会
取組方針の変更について
令和7年度までの取組状況と令和8年度以降の取組予定
- (3) 福井県管理河川（嶺北・嶺南ブロック）減災対策協議会
令和7年度までの取組状況と令和8年度以降の取組予定
- (4) その他（情報提供）
防災気象情報の改善について

【議事内容】

- (1) 規約改正
 - 九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会
 - ・ 小浜市およびあわら市の機構改革に伴う所属名の変更
 - ・ 「こしの都ネットワーク株式会社」に社名変更を反映
 - 福井県管理河川（嶺北・嶺南ブロック）減災対策協議会
 - ・ 小浜市およびあわら市の機構改革に伴う所属名の変更
- (2) 九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会
 - 取組方針の変更について
 - 福井河川国道事務所
 - ・ 令和8年度以降の5ヶ年の取組方針を更新
 - ・ これまでの5ヶ年の取組項目を継続とした
 - 令和7年度までの取組状況と令和8年度以降の取組予定
 - 福井河川国道事務所
 - ・ 令和3～7年度計画の34項目は、すべて令和7年度までに実施済
 - ・ 引き続き、ソフト対策を進めていく
 - 具体的な取組事例の紹介
 - 福井河川国道事務所
 - ・ 九頭竜川・北川に関する河川情報等の迅速な状況把握と関係機関への情報提供と共有
 - ふくい県域タイムラインのWEB会議の開催（計3回）
 - ・ 基地被災時を想定した衛星通信車や対策本部車を利用した訓練

- ▶ わくわく RiverCAN で、災害対策用機械の操作訓練を実施
- ・ 防災に関する啓発活動、水害（防災）教育の拡充
 - ▶ 平成26年度から、『わが家のぼうさいコンテスト』と『わが町の防災コンテスト』を継続実施
 - ▶ 東藤島地区自主防災組織連絡協議会からの要請により、防災講習会を開催（約50名参加）
 - ▶ 日野川西部地区治水協議会からの要請により、「近年の水災害」「流域治水」「マイ・タイムライン」「田んぼダム」などの取組を紹介する出前講座を開催（約30名参加）
 - ▶ 福井市豊地区自治会の住民を対象に、マイ・タイムライン、コミュニティ・タイムライン、マイ防災マップを作成するワークショップを開催（計3回、延べ約90名参加）
- ・ 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び避難訓練の実施
 - ▶ 要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練実施・報告に関する講習会を福井地方気象台、福井県と共に、市町を支援（4市町93施設、約130名参加）

（3）福井県管理河川（嶺北・嶺南ブロック）減災対策協議会

■ 令和7年度までの取組状況と令和8年度以降の取組予定

○ 福井県

- ・ 令和4～8年度計画の34項目は、すべて令和7年度までに実施済
- ・ 引き続き令和8年度も継続実施

■ 具体的な取組事例の紹介

○ 福井県

- ・ 水害・土砂災害に備える「ふくい県域タイムライン」の運用
 - ▶ WEB 危機感共有会議を開催し、早い段階での情報共有により早期の防災対応につなげる。
 - ▶ タイムラインで示す行動内容を事前に把握し、初動対応の確実な実施につなげる。
- ・ 住民の避難行動につながる「情報発信」
 - ▶ i-ame メールにより、雨量や河川水位が警戒値に達した場合など、メールを配信
 - ▶ スマートフォン版を新たに構築し、利便性を向上
- ・ 災害復旧に対する「支援」
 - ▶ 福井県建設技術公社が災害復旧アドバイザー（県土木OBや公社技術職員）を現地に派遣し、被害状況の調査や災害査定に関する支援を実施

○ 越前町

- ・ 防災士と連携した防災マップ作成、訓練での指導実践
- ・ 防災士エキスパートえちぜんに依頼し、指導スキル向上を図る研修を実施
- ・ 自主防災組織の役員に対し、避難所レイアウト作成指導を実践
- ・ 防災・減災の取組を進めるとともに、防災マップやマイ・タイムラインの普及を引き続き進めていく

○ 若狭町

- ・ 出水期に備え、土のう工法や炊き出しを含む水防訓練を例年実施
- ・ 消防職員、消防団、赤十字奉仕団、町職員など約160名参加

- ・ ハザードマップやタイムラインを活用した出水期前の水防訓練、地震を想定した防災訓練を引き続き実施し、関係機関の防災意識を向上させていく
- ・ 要配慮者利用施設の避難訓練の実施や避難行動要支援者の個別避難計画の新規作成、更新を進め、避難支援体制の強化を図っていく
- ・ 集落防災マップの作成、水防活動等に係る資材の購入等に補助を継続することによって、地域防災力を強化していく

○ 敦賀市

- ・ 敦賀市版タイムライン、ToDo チェックリストを作成
- ・ 各部・各班の役割を時系列に並べ、各部署が並行して何を実施しているかわかるように図式化
- ・ 今後、タイムラインを用いた総合防災訓練等々実施していく中で、さらにブラッシュアップを図る

○ 大野市

- ・ 地域の安全を地域で守る自主防災組織が、自分たちで、いつ・どのような行動を取るか計画しておく、コミュニティ・タイムライン作成を促進
- ・ 今年度、作成講習会を開催した。これからも作成を働きかけていく。
- ・ 実際の訓練、実際の災害において、改善等の必要になった場合、市からも適切な運用となるように働きかけていく

○ 越前市

- ・ 要配慮者施設向け避難計画講習会を開催（39施設、約60名の参加）
- ・ 越前市から避難確保計画の作成および訓練の実施・結果報告も義務付けられたことを説明
- ・ 水害を想定したワークショップを開催し、各施設から違う目線での要配慮者避難の課題などを意見出し合いながら、避難確保計画のブラッシュアップにつなげた

○ 永平寺町

- ・ 住民参加の防災マップを作成し、地域の防災の向上を図っている
- ・ 地区内で避難経路や危険箇所の確認するため街歩きを実施
- ・ その後、ワークショップで意見交換をしながら、より実効性の高いマップづくりに取り組んだ

○ 南越前町

- ・ 自主防災組織を対象に、ヘルメットや発電機など防災資機材の購入費および修繕費、飲料水、非常食などの備蓄品の購入費、防災研修訓練に係る費用について補助を実施
- ・ 令和6年度から各集落において防災講座を開催（73集落のうち52集落）
- ・ 町と自主防災組織が合同で防災訓練を実施

○ 高浜町

- ・ 避難情報発令判断システムを導入
- ・ 住民へ避難情報を適切なタイミングで対象地域に迅速かつ的確に発令することができ、逃げ遅れの防止等につなげていく

- ・ 防災行政無線や防災アプリとの連携により、すべての操作が一連で行え、職員の負担軽減や情報伝達の精度向上が図った

○ おおい町

- ・ 出水期前に洪水、土砂災害のほか地震や津波も含めた総合防災訓練を大島地区で実施
- ・ 消防職員、消防団員や赤十字奉仕団員、町職員のほか、開催地の自主防災組織も参加
- ・ 大島半島ということで、海上保安庁のほか地元の大島漁協さんと連携し、孤立集落からの船舶を利用した海上避難も実施（大島漁協と災害時の海上輸送の協定を締結）
- ・ 関係機関や各地区の住民と連携した訓練を心がけており、防災力の向上に努めていく

※ 福井市、小浜市、勝山市、鯖江市、あわら市、坂井市、池田町、美浜町の8市町

- 会議時間の都合上、事例発表を割愛
- 割愛した市町は、引き続き開催する「流域治水協議会」にて事例発表

(4) その他（情報提供）

■ 防災気象情報の改善について

○ 福井地方气象台

- ・ 令和8年5月下旬から、防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表（情報名称にレベルの数字をつけて発表）
- ・ 洪水警報は運用せず、洪水予報河川の氾濫警報に変更
- ・ 土砂災害警戒情報からレベル4土砂災害危険警報に変更
- ・ レベル4土砂災害危険警報の発表に至らないレベル3土砂災害警報の発表は、現行の大雨警報（土砂災害）に比べて、大幅に減少する
- ・ 早期注意情報や新たに導入する時系列情報（明日までの警報等の見通し）などを合わせて確認し、状況を把握することが有効
- ・ 新たな防災気象情報についての特設サイトを確認いただきたい